

令和3年度2学期終業にあたって

校長 萩谷 英明

皆さん、こんにちは。

さて、年明けには、大学入学共通テストが実施されます。今年行われた第1回目の問題を解いてみた人もいると思いますが、どの科目も文章をはじめとする複数の情報を結び付けて適切に処理していく能力を要求される問題が目につきました。

国語では、本文を読むだけでなく、本文を学習するためのノートや本文を批評する文章を読まなければならない、複数のテキストを統合整理して解答する力が求められました。

数学では、大量の問題文を読み込まなければならない、読み込んだ内容を数学的な解法に落とし込む作業に手間がかかったという分析がありました。

また、地歴・公民では、問いかけと選択肢を読み取る力があれば、知識がなくても解答できる問題があったほどです。

こうした傾向は、情報を整理・分析して自分の考えをまとめたうえでそれを表現するという、新たな意味の「読解力」が社会で求められていることに基づいています。

日本の代表的な企業で構成される経団連が毎年行っている新卒採用に関するアンケートでは、企業が新卒者の採用選考にあたって特に重視した点の第1位が16年連続で「コミュニケーション能力」となっていますが、「コミュニケーション能力」とは、文章や会話を早く正確に読んだり聞いたりして、自分の考えや心情を上手に伝える力、つまり「読解力」であることは言うまでもないでしょう。

では、この「読解力」をどのように身に付ければよいのでしょうか。月並みな答えとなりますが、「読解力」を身に付けるにはやはり読書なのです。皆さんは毎日、朝の読書を行っていますが、ひと月にどのくらいの数の本を読んでいますか。

自慢するような数字ではありませんが、私は深沢高校の図書館から毎月7冊あまりの本を借りています。私は、学校の素晴らしいところの一つは、すぐに本が借りられるというところだと思います。皆さんも、ぜひたくさん本を図書館から借りるなどして読んでほしいと思います。

読書習慣のない高校生が、本を読まない理由として挙げるのは、「時間がない」というものが多いのですが、「読みたいと思う本がないから」「どの本がおもしろいかわからないから」というものもあります。そんなときは、今、話題となっている「小説紹介クリエイター」のけんごさんのTikTok動画を参考にするのもよいでしょう。現在、本校の図書館でも、けんごさんが取り上げた本を目立つところに集めて並べています。実は、その隣に、私がお薦めする本も中澤司書が並べてくれました。ぜひ、図書館に行って、そうした本も手に取ってみてください。

人間は経験が多ければ、失敗が少なくなり、物事をスムーズに行えるようになります。経験とは、何も自分が直接経験するものばかりではありません。読書による間接的な経験も、自分の行動に役立てられる貴重な経験です。今、社会では、コロナ禍により、様々な経験を積むことに制限がかかっています。この冬季休業中も、オミクロン株による感染の急拡大が起こるかもしれません。皆さんには、不要不急の外出はできるだけ避けるようお願いしますが、そうした中で、読書による経験を増やしてみることは、理に適う有意義なことだと思います。そういう意味でも、この年末年始に多くの本を読んでほしいと思います。受験を控える3年生にも勉強の合間の読書で気分転換してもらえればいいと思います。

では、皆さん、感染予防に努めてよい年を迎えてください。